

発掘・植竹邦良
ニッポンの戦後を映す夢想空間

UMAKE Kuniyoshi
Visionary Views of Postwar Japan / Unearthed



《最終虚無僧》1974年 府中市美術館蔵

2023.5.20 Sat-7.9 Sun 府中市美術館 Fuchu Art Museum

主催：府中市美術館

休館日：月曜日 開館時間：午前10時から午後5時（入場は午後4時30分まで） 観覧料：一般700円（500円）／高校生・大学生350円（200円）

小学生・中学生150円（120円）＊（内は30名以上の団体料金＊未就学児および障害者手帳等をお持ちの方は無料＊府中市内の小中学生は「府中っ子学びのパスポート」で無料

虚無僧、電車、人体の一部、破裂したザクロ…奇妙なモチーフが増殖し、入り乱れながら交錯する、植竹邦良(1928-2013)の絵画。その底流には、戦後ニッポンの政治、社会、都市開発といった世相が密かに編み込まれており、モチーフへの執着を

よらうこそ植竹ワールドへ。



《人形の行く風景》1969年 府中市美術館蔵



《構築記》1997年 府中市美術館蔵



《スピナリオ電車》1977年



《溢れる山脈》1989年



《シュレ記-卵殻-》1979年 府中市美術館蔵



《陸橋にて》1976年

府中市美術館 Fuchu Art Museum

183-0001 東京都府中市浅間町1-3 ハローダイヤル 050-5541-8600

- 【交通案内】
- 京王線東府中駅から
 - 徒歩17分 ○ちゅうバス府中駅行き「府中市美術館」①下車すぐ
 - 京王線府中駅から
 - ちゅうバス多磨町行き「府中市美術館」①下車すぐ
 - 武蔵小金井駅南口行き(一本木経由)「天神町二丁目」②下車すぐ
 - 武蔵小金井駅南口行き(学園通り経由)「天神町幼稚園」③下車徒歩8分
 - 国分寺駅南口行き(東八道路経由)「天神町幼稚園」③下車徒歩8分
 - JR中央線武蔵小金井駅南口からバス
 - 府中駅行き(一本木経由)「一本木」④下車すぐ
 - JR中央線国分寺駅南口からバス
 - 府中駅行き(東八道路経由)「天神町幼稚園」⑤下車徒歩8分
 - お車の場合は、美術館近くの府中市臨時駐車場(無料、54台収容)をご利用ください



関連イベント

展覧会講座

「戦後の社会と美術家」
足立元氏
(美術史家・二松学舎大学准教授)
6月25日[日] 午後2時
当館講座室 無料

「植竹邦良案内記」
小林真結
(当館学芸員)
5月28日[日] 午後2時
当館講座室 無料

中村宏
《飛行機不時着す》
1963年
練馬区立美術館蔵



特集展示

1960前後の「前衛」

植竹は1950年代から、前衛美術会周辺の画家たちと接点を持ち、社会性の強い題材と私的なイメージの距離感を模索していた彼らの作品から多くを吸収します。中村宏、池田龍雄、尾藤豊、桂川寛の4作家の特集展示により、当時の社会と「前衛」の状況を窺います。

全貌を初紹介します。

感じる徹底した細密描写は、現代のコンピュータグラフィックを見慣れた目に異様な迫力をもって映ります。府中で制作を続けた知られざる画家、

戦後ニッポンの政治、社会、都市開発といった世相が密かに編み込まれており、モチーフへの執着を